



伝説から遺産へ：Laco 861907 "Bell X-1" の徹底解剖

生産完了モデルの背景、設計、そしてコレクターズバリューを巡る旅

The Legend: 音速の壁という見えざる障壁

1940年代半ば、航空工学は「音の壁」に直面していました。航空機が音速（マッハ1）に近づくと、激しい衝撃波により空中分解する危険があり、多くの専門家が有人での音速突破は不可能だと考えていました。

この未知の領域に挑むため、ベル・エアクラフト社はNACA（NASAの前身）とアメリカ陸軍航空軍と共に、実験機「X-1」を開発。それは従来の航空機の常識を覆すものでした。



翼の生えた弾丸：1947年10月14日の偉業

設計：Bell X-1の機体は、超音速域で安定することが証明されていた12.7mm機関銃弾をモデルに設計されました。動力はジェットエンジンではなく、4基のXLR-11ロケットエンジン。まさに「翼の生えた弾丸」でした。

歴史的瞬間：1947年10月14日、チャック・イエーガー大尉は「グラマラス・グレニス」と名付けられたX-1に搭乗し、高度43,000フィートでマッハ1.06を記録。人類史上初めて水平飛行で音速を突破しました。

意義：この偉業は、航空史がプロペラからジェット、そしてロケットへと移行する転換点となりました。Laco 861907は、この「革新」と「スピード」への敬意を形にしたものです。

ケースバックの刻印：時計の裏蓋には、この歴史的飛行を記念する"FIRST SUPERSONIC FLIGHT 14.10.1947"の文字が刻まれています。



The Instrument: コックピットの計器盤を腕元へ

ケース構造とPVDコーティング

素材: ステンレススチール（316L相当）、マットサンドブラスト仕上げ。

特徴: ケース全体に施されたブラックPVD（物理蒸着）コーティング。これは、コックピット内の計器パネルが光の反射を防ぐために黒く塗装されていたことを忠実に模倣しています。同時に、表面硬度を高め、耐傷性を向上させる実用的な利点も備えています。

サイズと装着感

直径: 42.0 mm（現代的な標準サイズ）

厚さ: 12.8 mm（確かな存在感）

ラグ・トゥ・ラグ: 50.0 mm

防水性能: 5 ATM (50m)



Type Aの進化形：瞬時の視認性を追求した文字盤



Lacoの伝統的な「Type A（バウムスターA）」をベースにしながら、あえてアラビア数字を「3, 6, 9, 12」のみに絞り、他をバーインデックスに変更。

このレイアウトは、SinnのNaBoシリーズや当時のWaltham製航空機パネルクロックに見られる意匠に近く、「瞬時の時間の読み取り」という計器本来の目的を最優先した設計思想を反映しています。

あるレビューでは「8日巻きの航空機パネルクロックをそのまま腕時計にしたようだ」と高く評価されています。

先端が矢印型（アローチップ）の秒針も、軍用計器のデザインを踏襲しています。

暗闇での計器：SuperLuminova C3とサファイアクリスタル



夜光塗料

針とインデックスには、強力な蓄光塗料である「SuperLuminova C3」が塗布されています。C3はグリーンに強く発光し、暗所での視認性は極めて高く、プロフェッショナルなツールとしての要件を満たしています。

風防

風防には、傷に非常に強いフラット形状のサファイアクリスタルを採用。これにより、歪みのないクリアな視界が確保され、操縦桿を握ったまま瞬時に時刻を読み取るパイロットの動きを想定した、実用的な仕様となっています。



The Engine: Laco 21の心臓部

Laco 861907には、自動巻きムーブメント「Laco 21」が搭載されています。

このムーブメントのベースは、日本のシチズン・ミヨタ製キャリバー「821A」です。

スイス製ムーブメントと比較してコストパフォーマンスに優れ、高い耐久性を持つことから「ワークホース（馬車馬）」として世界的に評価されています。



基本スペック

キャリバー	Laco 21 (Miyota 821A ベース)
振動数	21,600振動/時 (6振動/秒)
石数	21石
パワーリザーブ	約42時間
精度	日差 -20秒 ~ +40秒 (カタログスペック)

愛好家のための深掘り：知っておくべき3つの技術特性

1. ハック機能（秒針停止）の有無

前期モデル：初期のロットに搭載されたMiyota 821Aは「ノンハック（秒針が止まらない）」仕様でした。

後期モデル：2018年頃以降、Miyotaが82シリーズをアップデートし、ハック機能が追加されました。生産終了間際のモデルにはハック機能付きが存在する可能性があります。

注意点：中古市場で購入する際は、個体ごとにハック機能の有無を確認することが重要です。

2. ゴーストデート（Ghost Date）

文字盤に日付表示はありませんが、内部のムーブメントにはカレンダー機能が存在します。そのため、リ्यूズを一段引くと、日付ディスクが回転する感触（ゴーストデート）があります。これは不具合ではありません。

3. 秒針のスタッター（Stutter）

Miyota 82シリーズは秒針が「間接駆動」方式のため、強い衝撃が加わると秒針が一瞬止まるように見えることがあります。これは故障ではなく、時刻の精度に影響はありません。

実用性の追求：ナイロンストラップ

標準装備されるのは、幅20mmのグレーのナイロン製ストラップです。

高級な革ベルトではなく、あえてナイロンが選ばれたのは、X-1が実験機であった歴史的背景を反映しています。1940年代のパラシュートやシートベルトに使われた強靱なナイロンウェビングを彷彿とさせます。

グレーの色合いは軍用機材の無骨さを象徴し、ブラックPVDケースとのコントラストが美しいです。

バックルやループもケースに合わせたブラックPVD仕上げで、全体的な統一感が図られています。

****オーナーからの声***: 一部のユーザーからは「ストラップが硬い」との指摘もありますが、これは頑丈さの裏返しでもあります。



The Legacy: なぜこの時計は市場から姿を消したのか

生産終了（Discontinued）のインパクト

Laco 861907 "Bell X-1" は、現在Lacoの公式カタログにはなく、**生産完了モデル**となっています。このような特別モデルは限定的な期間や数量で生産されるため、一度市場在庫がなくなると、新品での入手は極めて困難になります。

価格推移と二次流通市場

当時の国内定価：約105,840円（税込）

海外での定価：約540ユーロ～650ドル

現在の中古相場：希少性から、状態の良い個体は当時の定価を上回る価格（例：770ドル）で取引されることもあります。国内の二次流通市場でも出品は稀で、発見され次第すぐに取り引が成立する傾向にあります。



代替の効かない存在：競合モデルとの比較

Laco 861907の価値は、そのユニークな立ち位置にあります。

比較対象1: Sinn 556 A
同じドイツ製の計器デザイン
(3-6-9-12) ですが、価格帯
は20万円を超え、より上位
のセグメントに位置します。



**比較対象2: Laco
現行エントリーモデル
(Augsburg/Aachen)**
これらは伝統的なType A/B
ダイヤルであり、Bell X-1の
ような特別な「計器アレンジ」
や「PVDケース」の組み合
わせは提供していません。

結論: Laco 861907は、「比較的手頃な価格」で、「本格的なドイツ製」でありながら、「歴史的背景を持つ特別なデザイン」という、ニッチでありながら魅力的な要素を兼ね備えていました。このため代替品が見つかりにくく、中古市場での需要が供給を上回る状況が続いています。

オーナーシップ体験：実際の評価



+ 肯定的評価 (Pros)

- * **圧倒的な視認性:** 「必要なものだけがあり、不要なものがない」と評される、計器としての読み取りやすさ。
- * **優れた夜光性能:** SuperLuminova C3は期待以上に明るく、暗所での実用性が高い。
- * **独自のスタイル:** 他のパイロットウォッチとは一線を画す、マットブラックの「実験機」的なデザインが所有欲を満たす。

— 注意点 (Cons)

- * **ストラップの硬さ:** 付属ストラップは頑丈ですが、馴染むのに時間がかかるとの意見が多い。多くは好みのストラップに交換して楽しんでいます。
- * **ムーブメントの挙動:** ノンハック仕様 (前期モデル) や、Miyota特有のローター回転音を気にする声もありますが、実用上の精度は優秀であるとの報告が多数です。

結論：歴史を腕に巻くということ



Laco 861907 "Bell X-1"は、単なる時刻を知る道具ではありません。それは、1947年のモハベ砂漠で人類が音速を超えた瞬間の興奮と、極限状態で数値を読み取るための機能美を、現代の技術で再構築したタイムピースです。

「生産完了」という事実は、この時計の魅力を損なうどころか、コレクターズアイテムとしての価値をさらに高めています。

もし市場で状態の良い個体に出会えたなら、それは航空史の一片を手に入れる貴重な機会です。本来のコックピットクロックがそうであったように、この時計もまた、頑丈で、実直で、そして何よりも「プロフェッショナルな道具」としての顔を持っているのです。

Laco 861907 "Bell X-1" スペックサマリー



詳細スペック表	
モデル型番	861907
シリーズ	Pilot Watch Special Models "Cockpit"
駆動方式	自動巻き（手巻き付き）
キャリバー	Laco 21 (Miyota 821A Base)
ケース材質	ステンレススチール（ブラックPVD）
ガラス材質	サファイアクリスタル
防水性能	5気圧防水（50m）
ケース径	42.0 mm
ケース厚	12.8 mm
ラグ幅	20 mm
夜光	SuperLuminova C3（グリーン発光）
生産状況	生産終了（Discontinued）
当時の国内参考価格	約105,840円（税込）